

●南児童館 ☎(84)3456  
 3日(月) イス取りゲーム  
 10日(月) 万華鏡を作ろう  
 14日(金) にこにこ広場  
 18日(火) みんなでクッキング  
 21日(金) 避難訓練  
 28日(金) にこにこ広場

# 児童館 こどもの ひろば

●西児童館 ☎(84)2321  
 7日(金) ちびっこ広場  
 10日(月) 箸技選手権  
 15日(土) 火おこし  
 (母親クラブ主催)  
 20日(木) お月見会  
 21日(金) ちびっこ広場  
 27日(木) 手作りクッキング



星に願いを(七夕) ~南児童館~



そうめん流し ~西児童館~

7月2日、南児童館では、「星に願いを(七夕)」を開催しました。5色ある短冊から好きな色を選び、どんな願い事をするかを考えながら書く子やすぐにすらすらと書く子がいました。そして、願い事を書いた短冊を竹笹に飾りました。

将来なりたい職業、夢や欲しいものなど、参加したみんながそれぞれ願い事が叶いますようにと、織姫と彦星にお願いをしました。

この日は、大変暑い日で、ひと時の涼になればと用意した冷やしそうめんが大変人気で、みんなおいしそうに食べていました。

7月21日、西児童館では、母親クラブ主催による「そうめん流し」が行われました。

幼児・小学生・中学生・保護者等の順番でそうめん流しを体験しました。2本の竹の中を水と一緒にそうめん、時々、ミニトマトやきゅうりが流れてきます。お箸でそうめんをすくうのは難しく、それ以上に難しかったのがミニトマトです。それでも、片手にお椀を持ち、すくったそうめんを美味しく口にほおばっていました。当日は、約100名の参加者がそうめん流しを楽しみました。

母親クラブ、中学生ボランティアの方々ありがとうございました。

## 思いやりの心で 明るい社会を

▼「いじめ」は人権意識の希薄さによるもの

「いじめ」の根底には、他人に対する思いやり、いたわりといった人権意識の希薄さがあります。相手が受ける痛みを考慮することなく、徹底的に痛めつける場合さえあります。また、「いじめ」を行う子どもは、「のろいかめ」「のろま」と言っただけなどと言いつつ逃げることがありますが、そういった他人の弱い点を、思いやるのではなく逆に「いじめ」の口実にしてしまう点も、人権意識の希薄さによるものといえます。人権意識とは、他人の心の痛みを分かるといふことにほかなりません。

▼「いじめ」は差別の芽

「いじめ」は、動きが鈍いとか水泳が下手だといった集団の中の異なるものを標的に、ただ異質であるというそれだけの理由で行われることが多いものです。このような構造は、不合理な差別と軌を一にするもので、そのまま放置すれば差別の芽となる危険をはらんでいます。差別をなくすためにも、「いじめ」をなくすためにも、お互いの異なる点を個性として尊重する人権意識を養っていくことが重要です。

▼心の痛みと責任を自覚させることが大切

「いじめ」をする子どもは、「いじめ」を受ける子どもが、相談相手もないまま、来る日も来る日も一人で深刻に悩み続けることさえ恐ろしくなり、孤独感を感じて行き場を失い、将来にわたる深刻な被害をもたらすことについて、考えが及ばないようです。相手の立場になって考えさせ、「いじめ」が、大変に残酷で、取返しがつかない重大な人権侵害であることを十分に理解させることが最も大切です。

▼人権意識を育てることが大切

結局、「いじめ」は、「いじめ」を行う子どもの存在感や自尊心の欲求不満の代償行動としてなされることが多いのですから、「いじめ」をなくすためには、根本的には「いじめ」を行う子どもへの存在感や自尊心を満足させるように、彼らとのコミュニケーションを深め、彼らの悩みを解消していく指導が必要となります。

さらに、「いじめ」は他人に対する思いやり、人権意識の希薄さによる行為ですから、子どもたちの中に互いの人権を尊重し合う豊かな心を育てることが大切です。

(総務課) 人権推進室